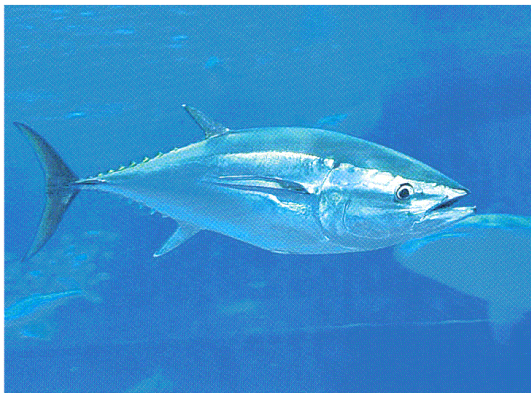




㊦マグロの体には胸ビレをしまう溝がある㊦黒潮大水槽を泳ぐクロマグロ

クロマグロ

学名 *Thunnus orientalis*

分類	スズキ目サバ科
大きさ	全長3m、体重400kg
分布	北半球の太平洋、亜熱帯から 温帯域。熱帯域や南半球にも わずかに見られる
食性	トビウオ類やキントキダイ類 等の魚類、イカ類など
特徴	太平洋の西から東までの広大 な海域を回遊する。水温は5～ 30度以上と、幅広い環境に適 応する。成魚は「ホンマグロ」、幼 魚は「シビ」「ヨコワ」と呼ばれ る。寿命は20歳以上。キハダ、 ビンナガ、メバチなどよく知ら れるマグロの仲間7種類の中 で、クロマグロは最大種。近年の 乱獲により資源量が急激に減 っており、国際自然保護連合(I UCN)は2014年に絶滅危惧種 に指定している。国内の大学、研 究機関で天然資源に頼らない 完全養殖が行われている。

速く泳げるように体に秘密

高級なすしネタにもなるクロマグロは、みなさんなじみのある魚の一つだと思います。泳ぎが得意で、魚類の中でもトップクラスのスピードを誇ります。でも、海の中

でどうやってスピードを調べるのでしょうか。これまで①釣り針がかかって逃げる時、リールから釣り糸が出ていく速さから割り出す②水中撮影した画像を分析する、とい

う方法などから、時速100kmで泳ぐとされてきました。最近、技術の進歩により、泳ぎに影響が出ない超小型の記録計を体に取り付け、回収して分析できるようになりました。この方法は泳ぐ深さや水温、魚の速さを正確に知ることができます。研究から、普段泳ぐ時は時速5km、魚を追いかけるときは減らすことができます。

かこしま水族館の黒潮大水槽では、体長1mほどに成長したクロマグロを展示しています。泳ぐスピードに応じて、ヒレを閉じたり広げたりする様子も観察できます。マグロは口からエラに海水を流し、水に溶けている酸素を取り込むため、止まると窒息してしまいます。生まれた瞬間から一度も止まることなく、昼夜泳ぎ続けているのです。驚異的なパワーで泳ぎ続けるクロマグロを見に来ませんか。

おもしろ生き物図鑑
かこしま水族館から